

【「イノベーション立国・日本」構築に向けた50の具体的政策】

1. 未来への「投資」の拡充

- (1) 科学技術振興費の拡充 ○科学技術振興費をシーリング一律削減の対象外とし拡充
- (2) 基礎研究の強化に向けた競争的資金の拡充
 - 「科研費」の拡充 ○「戦略的創造研究推進事業」の拡充 ○「産学共創基礎研究基盤研究プログラム」の拡充
 - 上記プログラムの研究成果の評価に産業界が参画する仕組みの構築
- (3) 最先端研究開発支援プログラム(FIRST)の後継プログラムの創設
 - FIRSTを参考に後継プログラムを創設 ○同プログラムの評価に産業界が参画する仕組みの構築
- (4) “未来開拓型”国家プロジェクトの推進 ○府省の枠を越えた“未来開拓型”国家プロジェクトを推進
- (5) イノベーションの出口に近い省庁の科学技術予算の拡充
 - 経産省や総務省等の出口に近い省庁の予算拡充、及びこれらの省庁と文科省との基礎研究段階からの連携強化
- (6) 税制上の支援措置の強化
 - 研究開発促進税制の本則化 ○同税制の総額型の税額控除限度額を法人税額の30%とし恒久化
 - 同税制の税額控除限度超過額の繰越期間を3年間とし恒久化
 - 知財の取得及びM&Aによるのれんに係る税務上のインセンティブ措置の創設

2. 未来を創る「基盤」の整備

- (1) 世界最先端の研究開発拠点の整備 ○「つくばイノベーションアリーナ」の取組強化 ○東北における「材料・デバイス研究開発拠点」や、北九州における「水素エネルギー・燃料電池研究開発拠点」等の創設
- (2) 研究開発法人の機能強化 ○「科学技術イノベーション戦略本部」に研究開発法人に対する勧告権等を付与
 - 産業界中心メンバーからなる評価委員会の設置 ○研究開発法人が役割を着実に果たすために必要な制度改革の実施
- (3) 規制改革及び政府調達戦略の推進
 - 経団連「未来都市モデルプロジェクト」実証実験関連の規制改革 ○グリーンイノベーション関連の規制改革
 - ライフイノベーション関連の規制改革 ○ICT活用関連の規制改革 ○農業関連の規制改革 ○政府調達の推進
- (4) ICT戦略の推進 ○マイナンバー制度の早期実現 ○マイナンバー制度を通じた行政業務の改善
 - 行政CIOの早期設置 ○ITSの推進 ○高齢者が使いやすいICT技術の開発促進 ○大学教育等におけるICT教育の強化
- (5) 知的財産制度の整備と国際標準化戦略の推進 ○職務発明制度の抜本的見直し ○トップスタンダード制度の推進
 - 世界特許システムの構築に向けた国際的な制度調和等 ○社会インフラシステムのパッケージ化及び国際展開

3. 未来を担う「人材」の育成

- (1) 大学・大学院改革
 - ① 高度理工系・グローバル人材の育成強化 ○カリキュラムの見直し ○留学支援制度の拡充及び留学生・研究者受入れ拡充 ○インターンシップ制度の拡充 ○ダブルメジャー制度の導入 ○9月入学の促進及び入試制度の改革
 - ② 大学院の質の向上 ○「教育」に積極的に取組む教員を評価する体制の構築 ○企業経験のある教員拡充
 - 海外からの優秀な教員の受入れ拡充
 - ③ 大学・大学院に対する評価体制の構築 ○「教育」に対する適正な評価指標の整備 ○「教育」に関する取組の評価の高い大学・大学院へ運営費交付金を拡充する仕組みの構築 ○大学・大学院への評価に産業界が参画する仕組み構築
 - ④ 大学入試科目の見直し ○文系における理科、理系における社会の必須化
- (2) 初等中等教育の強化
 - 大学及び企業経験のある人材による授業の推進 ○実践的プログラムの促進 ○ディベート教育の強化

【「イノベーション立国・日本」構築に向けた22の具体的プロジェクト】

1. 資源・環境・エネルギー制約の克服

(1) 革新的な創エネルギー技術

- ①太陽電池の高効率化・低コスト化
- ②火力発電の高効率化とCCS(CO2分離・回収・貯留)
- ③原子力発電の安全性向上
- ④バイオマス(微細藻類を利用した燃料)

(2) エネルギー・資源の高効率利用技術

- ①次世代高効率空調・冷凍システム
- ②炭素繊維による材料の軽量化
- ③次世代自動車の高性能化(リチウムイオン電池)
- ④グリーンパワーエレクトロニクス
- ⑤モーターからのレアアース回収及び省・脱レアアース
- ⑥有機系基幹原料のソースの多様化
- ⑦アンモニアを利用した発電システム

(3) エネルギーマネジメントシステムの構築 スマートグリッド(HEMS、BEMS等)

2. 高齢化に対応した健康長寿社会の実現

(1) 予防医療(先制医療)

バイオマーカー(体内変化を測る生体物質)に関する研究開発の促進

(2) テーラーメイド治療

遺伝子・タンパク質レベルの解析に基づくテーラーメイド治療に関する研究開発の促進

(3) 医療ニーズの高い疾患に対する革新的医薬品・医療機器

癌・認知症等の難治性の病気に対する革新的な医薬品や超早期診断を可能にする診断機器等の開発促進

(4) 次世代医療・健康システム

医療情報の電子化や医療機関間のICTネットワーク化の促進

3. 安全・安心な経済社会の構築

(1) レジリエント(強靱・柔軟)なICT基盤の構築

- ①災害予測及びモニタリングシステム
- ②災害時でもつながる情報通信ネットワーク
- ③クラウドの活用を通じた個人の行政情報等管理システム

(2) 災害対応ロボットと運用システムの整備

被災地で使用する機動力のあるロボットや、劣悪な環境で復旧を行う無人化施工ロボット等の技術開発促進、及び運用体制の整備

4. フロンティア戦略の推進

(1) 準天頂衛星システムの構築

準天頂衛星7機体制を実現し自律測位衛星システムを構築

(2) 海洋エネルギー・資源の開発

メタンハイドレート、石油・天然ガス等の探査・掘削を促進。メタンハイドレートは2020年度の商業化の実現に向けた産出試験を着実に推進